

マンモグラフィ

マンモグラフィとは乳房専用のレントゲン写真です。乳房は脂肪や乳腺など、とても柔らかい組織でできています。その中の細かい組織を写し出すために工夫された専用の機械を使って撮影します。外からさわってもわからないような小さな病変を白い影や石灰砂の影として見つけることができるので、早期乳がんの発見に非常に有効といえます。



平成 17 年 2 月当院では、高画質・高精細の P C M デジタルマンモグラフィ装置を導入しました。平成 19 年 10 月には、マンモグラフィ検診施設画像評価で認定を取得しました。施設認定には認定取得後の施設にマンモグラフィの画質の維持を促す目的で、3 年の更新制度が設けられています。私たちも患者様により良いマンモグラフィ検査を提供し続けていくため、平成 22 年 11 月、審査を受けたのち、施設認定を更新いたしました。施設認定とは、NPO 法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会（精中委）が、マンモグラフィ検診の精度を維持するために、画質評価・被ばく線量・ポジショニングなどの点において評価し、マンモグラフィ検診を行う施設として基準を満たしていると認める施設に与えるものです。またさらに、撮影認定をもった女性技師が担当させていただくことで、患者様の不安やストレスが最小限抑えられるように取り組んでいます。

乳がんについて…

日本人女性がかかるガンのトップは乳がんです。女性の 20 人に 1 人が乳がんになるといわれており、2004 年に乳がん で亡くなった女性は 10,524 人で、交通事故で亡くなった 7,358 人を上回っています。（厚生労働省 H.16 人口動態統計）

乳がんは 20 歳過ぎから認め、30 歳代から 40 歳代で急増し、40 代後半から 50 代にかけて発症がピークになります。

『乳がんのリスクが高いとされる人達』

- ・ 40 歳以上の人
- ・ 初産年齢が 30 歳以上の人（出産経験がないひとを含む）
- ・ 閉経年齢が 55 歳以降の人
- ・ 標準体重より +20% 以上太っている人
- ・ 良性乳腺症になったことのある人
- ・ 乳がんになったことがある人
- ・ 家族に乳がんになった人がいる人



実際の撮影の流れについて

撮影室に入室後、上半身は裸になっていただき、検査用のガウンを着た状態で撮影を行います。髪の長い方は結んでいただき、眼鏡・時計・アクセサリは外していただきます。乳房を直接、フィルム台に乗せて撮影します。力を抜いて楽にしておいて頂ければ、技師の方で位置を合わせていきます。乳房組織を残さず写真に写し込む為、乳房をできるだけ台の方に引っ張り、その状態で圧迫板というプラスチックの板で圧迫し固定します。個人差はありますが、圧迫によりある程度の痛みを伴

う場合がありますが、圧迫は鮮明な写真を撮るためにはどうしても必要なことであるとともに、放射線による被ばく量も減らすことにも繋がります。撮影は、左右2方向ずつ、合計4回行います。検査時間は約15分です。



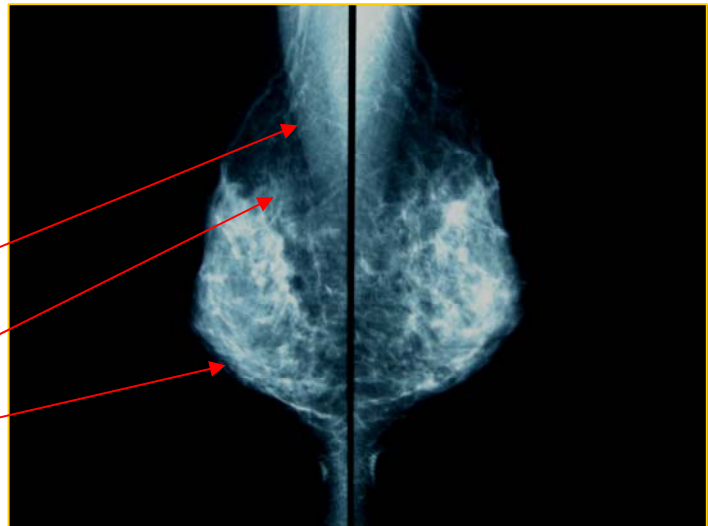
いつ撮影するのか？

マンモグラフィー検診は視触診と併せて2年に1回、できれば1年に1回受けられることをお勧めします。乳房を強めに圧迫するため、なるべく生理前の乳房が張っている時期は避けたほうが良いと思います。また、しこりや乳頭からの分泌液など、いつもと違う症状に気が付いた人は、検診の時期を待たずに、早めに受診して下さい。

どんな写真がとれるのか？

こんな写真が撮れます。

大胸筋
黒いところが脂肪
白いところが乳腺



乳房撮影における放射線被ばく

マンモグラフィーはX線検査なので、放射線被ばくがあります。しかし、1回の検診で乳房が受ける放射線の量は東京からニューヨークへ飛行機で行くときに浴びる自然放射線の量の約半分程度です。つまり、マンモグラフィーに伴う危険性はほとんどないと考えられます。マンモグラフィーによって早期乳がんが発見できることのメリットの方が被ばくのリスクを心配することより遥かに大きいのです。



最後に…

近日、マンモグラフィーについてTVや雑誌で取り上げられる機会が増えてきてはいますが、残念ながら日本では、まだまだ乳がんに対する関心や知識が低く、発見された時にはすでに進行している場合が少なくありません。乳がんによる死亡率を減らすためには、早期発見・早期治療が大変重要となります。検査の痛みを恐れる気持ちや、他人に胸を見られたり、触られたりすることへの抵抗は大きいと思います。ですが、そこで勇気を出して検査を受けることが、とても大きなメリットになりえるということをご理解下さい。

我々も良質な検査が提供していけるよう日々努力していきますので、是非、積極的かつ気軽な気持ちでマンモグラフィー検診を受けていただきたいと思います。

乳がん早期発見の為に、日常的なセルフチェックや定期的な乳癌検診を積極的に取り入れましょう。

マンモグラフィー検診をご希望の方は、まず、当院外科外来を受診して下さい。